【令和2年度】

「私立幼稚園における『預かり保育』に求められるもの」に関するアンケート　リサーチプラン

１．調査の背景と目的

幼稚園では、教育課程に係る教育時間の前後や休業日などに、地域の実態や保護者の要請に応じて、当該幼稚園の園児のうち希望者を対象に「預かり保育事業」（※）を行っており、大阪府では預かり保育事業を実施している私立幼稚園に対して補助金を交付し支援している。

近年は女性の社会進出や多様で柔軟な働き方の推進等により、保護者の保育ニーズが多様化している。一方で、預かり保育の利用料が幼児教育・保育の無償化の対象になったことや、預かり保育に対し、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休園中の子どもの受け皿としての役割が求められるなど、預かり保育を取り巻く状況が大きく様変わりしている。

このような中、預かり保育をめぐる課題や保護者の保育ニーズを把握することにより、預かり保育を適切に支援できる制度の検討を進めるため、本調査を実施する。

　（※）預かり保育

　　　教育時間（９時から14時頃）の前後や休業日などに、園児のうち希望者を園で預かること。

2．調査（検証）項目

　　　仮説１：働いている保護者のうち、私立幼稚園以外に通園（所）させている保護者は、私立幼稚園に通園させている保護者よりも預かり保育を知っている割合が低い。

仮説２：預かり保育を利用している保護者と利用していない保護者で、施設に求める内容に差がある。

仮説３：預かり保育を利用している保護者は、就業形態によらず、長時間より短時間の預かり保育を利用している

３．調査対象

　　　3歳から5歳の子どもがいらっしゃる府内在住の保護者のうち、

①私立幼稚園に通園させている保護者で保育要件を持つ者　　　　　　250サンプル

②私立幼稚園に通園させている保護者で保育要件を持たない者　　　　300サンプル

③私立幼稚園以外に通園（所）させている保護者で保育要件を持つ者　450サンプル

４．質問項目

　　■予備質問　6問

　　　SC１　性別（SA）

　　　SC２　年齢（NA）

SC３　都道府県（SA）

SC４　3歳から5歳までの子どもの人数（NA）

SC５　「保育の必要性」の認定状況（SA）

SC６　施設の通園（所）状況（SA）

　　■本質問　16問

　　　Q１．子どもが通園（所）する施設を検討する際に参考にした情報（MA）

　Q２．現在通園（所）している施設に入園（所）させた理由（MA・最も重視した理由１つ）

Q３．幼稚園や認定こども園において実施している預かり保育の認知（SA）

　　　Q４．【預かり保育を知っている】預かり保育を知ったきっかけ（MA）

Q５．【預かり保育を知っている】預かり保育の利用の有無（SA）

Q６．【預かり保育を利用している、利用したことがある】預かり保育の利用頻度（SA）

Q７．【預かり保育を利用している、利用したことがある】預かり保育の利用時間帯（MA）

Q８．【預かり保育を利用している、利用したことがある】平日以外の預かり保育の利用（MA）

Q９．【預かり保育を利用している、利用したことがある】平日以外の預かり保育の今後の利用（MA）

Q10．【預かり保育を利用している、利用したことがある】新型コロナウイルス感染症対策による臨時休園期間中（令和2年３月から５月）の預かり保育の利用状況（SA）

　　　Q11．【預かり保育を利用している、利用したことがある】預かり保育に求めること（MA・最も重視するもの1つ）

Q12．【預かり保育を利用したことはない】預かり保育を利用しない理由（MA）

　　　Q13．【預かり保育について聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない、知らない／保育所等の保育施設に通っているので、預かり保育を利用する必要がない】

現在、通園（所）している施設の利用状況（SA）

Q14．【預かり保育について聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない、知らない／保育所等の保育施設に通っているので、預かり保育を利用する必要がない】

どのような預かり保育が実施されていれば、預かり保育を利用しながら幼稚園に通うことを検討するか（MA・最も重視するもの1つ）

Q15．就業状況（SA）

Q16．配偶者の就業状況（SA）

５．検証方法

仮説１：Q15×SC６×Q３

仮説２：Q５×Q２

仮説３：Q15×Q7